The 50th Symposium

Legal Institute, KANSAI University

2015.9.26 (sat)

14:00〜17:00

ホッブズのローマ
タキトゥスとマキアヴェッリの間で

三つの論考「タキトゥスの冒頭部分に関する論考」「ローマについての論考」そして「法についての論考」は、『リヴァイアサン』を執筆する以前の初期ホッブズの政治思想を示すものとして20世紀末以来注目されるようになりました。

これらの論考は、ホッブズ自身のトゥキディデス『ペロポネソス戦史』の英訳やそれに関連する序文と並んで、共和政から帝政への移行期を中心とする古代ローマへの関心を示すものと言えるでしょう。本シンポジウムでは、フィレンツェ大学のダニエラ・コーリ教授をお招きし、君主政主義者にしてタキトゥスの読者でもあるホッブズの視座の形成とその特質を、共和主義者にしてリウィウスの読者マキアヴェッリとの対比を通じて解明頂く予定です。
多数のご来場をお待ちしています。

報告者

ダニエラ・コーリ（Daniela Coli、フィレンツェ大学教授）

※報告は英語ないしイタリア語で行われます。
質疑討論では適宜日本語も使用します。

討論者

木村 俊道（九州大学法学研究院教授）

聴講無料
申込不要

通訳

石黒 盛久
（金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授）

司会

安武 真隆（政策創造学部教授）

会場

関西大学千里山キャンパス
児島惟謙館１階第１会議室

この伝統を、超える未来を。
130 KANSAI UNIVERSITY

問い合わせ先　関西大学　研究所事務グループ
〒564-8680　吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-0329　FAX:06-6339-7721
E-mail : hogakuken@ml.kandai.jp